

申込用紙

参加ご希望の方は必要事項をご記入の上、
FAX、メールまたは郵送でお申送ください。
※定員に達し次第締め切り

下記URLの申込フォームも
ご利用できます。

URL: <https://ssl.form-mailer.jp/fms/558467af581995>



Mail kikaku@glow.or.jp Fax 0748-46-8228

ふりがな 氏名	団体名 施設名 学校名
職名	電話番号
メールアドレス	
参加希望のプログラム日に☑を入れてください	
ボーダレスな芸術鑑賞のための アクセシビリティ研修	<input type="checkbox"/> ①2018.9.24 ▶障害のある人が気軽に来られる開かれた劇場を目指して <input type="checkbox"/> ②2018.10.21 ▶無視覚流鑑賞のススメ
カンパニー／地域／コラボレーション —障害のある人の舞台芸術表現を考える—	<input type="checkbox"/> ①2018.10.14 ▶障害のあるダンサーが中心となったダンスカンパニーができるまで <input type="checkbox"/> ②2018.11.17 ▶地域で生まれる芸術活動の最前線 <input type="checkbox"/> ③2019.1.13 ▶一人ひとりの身体の多様性
実際に体験することがいちばん！ さまざまな現場に出会う	<input type="checkbox"/> ①2018.10.2 ▶表現の“バイパス”をまんま“場”に一愛のある展示空間を目指して <input type="checkbox"/> ②2018.11.8 ▶小暮さんと巡るワークショップツアー@京都市ふしみ学園 <input type="checkbox"/> ③2018.11.23 ▶みる・きく・さわる作品鑑賞会 <input type="checkbox"/> ④2019.1.12 ▶小暮さんと巡るワークショップツアー@大津ワークショップグループ <input type="checkbox"/> ⑤2019.1.25 ▶アート商品の開発や作品売買について
●各プログラムをより充実した企画にするため、次の質問にお答えください。	
1. 今、障害のある人の芸術活動に関する取り組みをされていますか？	()
2. 研修会でどのようなことを学びたい(体験したい)ですか？	()

お問合せ／送付先

社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～ 法人本部企画事業部

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837-2

電話:0748-46-8100 FAX:0748-46-8228(平日9:00~17:00) メール:kikaku@glow.or.jp



1回でも参加OK!!
(参加費無料)

アートやダンスって
おもしろそう

だれでも
参加できます



社会福祉法人グロー
(GLOW)

芸術活動支援のためのプログラム

アートや音楽を通して「支援」の
視点が変わるかもしれません



みんなが鑑賞を楽しむための
ヒントが見つかります



さまざまな人が舞台芸術や
展覧会を楽しめたらいいのに...

障害のある人と

美術や舞台表現を楽しむために

SCHEDULE

2018年 9/24(月・祝)

10/2(火)

10/14(日)

10/21(日)

11/8(木)

11/17(土)

11/23(金・祝)

2019年 1/12(土)

1/13(日)

1/25(金)

- ...アート
- ...音楽・ダンスなど

研修 障害のある人が気軽に来られる開かれた劇場を目指して

研修 表現の“バイブス”をまんま“場”に 一愛のある展示空間を目指して

講演 障害のあるダンサーが中心となったダンスカンパニーができるまで

研修 無視覚鑑賞のススメ

体験 小暮さんと巡るワークショップツアー @京都市ふしみ学園

講演 地域で生まれる芸術活動の最前線

鑑賞 みる・きく・さわる 作品鑑賞会

体験 小暮さんと巡るワークショップツアー @大津ワークショップグループ

対談 一人ひとりの身体多様性

研修 アート商品の開発や 作品売買について

PROGRAM

本プログラムは3つのテーマで 計10回実施します。

ボードレスな芸術鑑賞のための アクセシビリティ研修

視覚障害や聴覚障害のある人が舞台芸術や美術展の鑑賞をすることについて、お二人の実践家から取り組みをお話いただけます。平成30年度障害者芸術アクセシビリティ普及促進事業(滋賀県)

1 9月24日(月・祝)

研修 障害のある人が気軽に来られる開かれた劇場を目指して

日時:9月24日(月・祝) 14:00-16:30
場所:栗東芸術会館さくら 研修室(滋賀県栗東市穂2-1-28)
講師:廣川麻子(NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 理事長)
様々な障害のある人が、劇場での舞台芸術鑑賞を楽しむためには、どのような環境整備が重要でしょうか。劇場のアクセシビリティについての講義や、聴覚障害のある人への受付対応のロールプレイを通じ、障害の有無に関わらずに誰もがアクセスできる、「開かれた」劇場のあり方について、ともに考えます。

※本研修については9月21日(金)までにお申込ください

2 10月21日(日)

研修 無視覚流鑑賞のススメ

日時:10月21日(日) 13:30-15:00
場所:草津市立市民交流プラザ 小会議室3(滋賀県草津市野路1-15-5)
講師:広瀬浩二郎(国立民族学博物館 准教授)

美術作品の中には、見るだけでなく、五感を通じて楽しむ作品が多くあります。「さわって得(おどろく)」ということ 키워ドに、美術作品に直接触れる「無視覚流鑑賞」を提案する広瀬さんからお話しいただき、障害のある人の作品鑑賞の可能性をともに考えます。



カンパニー/地域/コラボレーション —障害のある人の舞台芸術表現を考える—

舞台芸術表現に造詣の深い専門家やアーティストを招き、障害のある人の芸術作品の創造、地域社会とのつながりについて考えます。

障害者表現活動の地域拠点づくりモデル事業(滋賀県) 文化庁 平成30年度文化芸術振興費補助金(先進的文化芸術創造活用拠点形成事業)

1 10月14日(日)

講演 障害のあるダンサーが中心となったダンスカンパニーができるまで

日時:10月14日(日) 14:00-16:00
場所:ウイングプラザ研修室C(滋賀県栗東市穂2-4-5)
講師:北村成美(湖南ダンスカンパニー ディレクター)
障害のあるダンサー、支援者、プロのダンサーがともに舞台上立つ「湖南ダンスカンパニー」の創作現場では、メンバーの習慣から生まれた動きが振り付けとなり、振り付けが習慣となる、絶え間ない循環が起きています。北村氏の講義、フランス・ナントでの海外公演の映像、メンバーによる実演を通じ、ダンスが生まれ、観客に届くまでの中で起きていることを共有します。

2 11月17日(土)

講演 地域で生まれる芸術活動の最前線

日時:11月17日(土) 14:00-16:00
場所:草津市立市民交流プラザ小会議室2(滋賀県草津市野路1-15-5)
講師:太下義之 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター長/主席研究員)
多様な人々が地域で生活をする中で、文化芸術活動を通じて生きがいや居場所を見いだす取り組みが、全国各地で行われております。高齢者の芸術活動をはじめとした様々な事例から、障害のある人の舞台芸術活動との共通点を見出し、これからの地域との協働のあり方についてともに考えます。

3 1月13日(日)

対談 一人ひとりの身体多様性

日時:1月13日(日) 14:00-16:00
場所:ウイングプラザ研修室C(滋賀県栗東市穂2-4-5)
講師:森田かずよ(CONVEY 主宰) 北村成美(湖南ダンスカンパニー ディレクター)

義足の女優・ダンサーである森田氏は、ある時は義足を身につけ、またある時は車椅子に乗りながら、自身の身体と向き合った独自のパフォーマンスを行っています。また北村氏は、様々な障害のあるダンサーとともに作品を作り続けてきました。二人のこれまでの歩みや2014年からスタートしたコラボレーションについて話を伺いながら、障害の有無を超えて表現者として舞台上立つことについて考えます。



実際に体験することがいちばん！ さまざまな現場に出会う

「福祉施設でどのように美術や舞台表現の活動をしたらいいのだろう」「作品をつかってグッズをつくりたいけどどうしたらいいのかな」「作品をみせる、楽しむってどういうこと？」このような悩みや疑問を持っている方にぜひ体験していただきたいです。

障害者芸術文化活動普及支援事業(滋賀県、厚生労働省)

1 10月2日(火)

技術研修 表現の“バイブス”をまんま“場”に一愛のある展示空間を目指して

日時:10月2日(火) 18:00-20:30
場所:ボードレス・アートミュージアムNO・MA(滋賀県近江八幡市永原町上16)他
講師:横井悠(NO-MA学芸員)
作品が持つ魅力を探し、個々の作品に合わせた効果的な展示方法を学びます。どうしたら作品の魅力を引き出し、伝えることができるのかを、ワークショップや実演を通して考えましょう。

2 11月8日(木)

活動体験 小暮宣雄さんと巡るワークショップツアー @京都市ふしみ学園

日時:11月8日(木) 13:00-16:00
場所:京都市ふしみ学園アトリエやっほっ!! (京都市伏見区紙小屋町544 伏見区社会福祉総合センター3F)
講師:中島慎也(京都市ふしみ学園支援員)

ナビゲーター:小暮宣雄(京都橋大学現代ビジネス学部教授)

京都市ふしみ学園は2008年に「アトリエやっほっ!!」を開校し、ほぼ毎日アート活動を行い、数多くの作品が国内外で展示されています。大津ワークショップグループは10年以上前から打楽器演奏の活動を始め、即興性の高い自由でパワフルな演奏で毎年糸賀一雄記念賞音楽祭で発表しています。障害のある人の美術や音楽活動の現場を訪問し、一緒に絵を描いたり、演奏したりしたあと、そこで感じたことや普段思っている疑問などを参加者、活動の担当者、アーツマネジメントや文化政策の専門家であり、障害のある人が創る芸術に魅了され続けている小暮宣雄さんとたっぷり語り合います。

3 11月23日(金・祝)

作品鑑賞 みる・きく・さわる作品鑑賞会

日時:11月23日(金・祝) 13:00-16:30
場所:ボードレス・アートミュージアムNO・MA(滋賀県近江八幡市永原町上16)他
講師:広瀬浩二郎(国立民族学博物館 民族文化研究部准教授)
企画展「以“身”伝心 からだから、はじめてみる」で、いつもと違う「みる」、楽しむ鍵を「きく」、形態や質感を「さわる」作品鑑賞会を開催します。目が見えない人、見えにくい人、耳が聞こえない人、聞こえにくい人、もちろん見えて聞こえる人も一緒に楽しみましょう。

5 1月25日(金)

研修 アート商品の開発や作品売買について

日時:1月25日(金) 14:00-17:00
場所:草津市立まちづくりセンター 研究室309(滋賀県草津市西大路9-6)
講師:山崎慎也(ライフスペース・プロベラ 或 laboratory 管理者) 森下静香(たんぼぼの家/Good Job!センター 香芝センター長) 平塚崇(北大津きよ法律事務所 弁護士)
障害のある人の作品を販売したり、作品を利用してグッズをつくるためのノウハウについて、福祉施設の実践報告では商品開発のコツやプロセス、予算などを学び、グッズ制作のワークショップを行います。弁護士の講義では作者の権利や必要な契約のことを学びます。参加者同士で話しをしながら楽しく身につく研修です。



芸術活動支援のためのプログラム 障害のある人と美術や舞台表現を楽しむために